科目名: 精神看護学実習	必修	2単位(90時間)
(Psychiatric Nursing Practice)		

履修年次/時期: 3年次 通年　　授業形態: 実習

主担当教員: 木村 幸代

主担当教員詳細: 精神科臨床実務経験15年のうち実習病院での勤務経験があり、実践的に学生を指導、支援 していける体制を作り、学びの深い実習が出来るよう教員を配置している。

担当教員名: 中村 仁志, 石井 一義

学修目的	臨床実習 ①精神疾患のある看護の対象の特徴を理解し、看護過程を展開する。 ②受け持った患者とコミュニケーションを図り援助関係を築く。 ③プロセスレコードを活用し、自己理解・他者理解を深める。 ④人権の問題に関心を持ち、人間尊重についてグループで検討する。 ⑤精神看護学関連の授業で学んだ知識を想起し、患者の観察に活用する。 ⑥チームの一員として情報共有し合い、患者の立場に立った行動をとるための報告・連絡・相談を実施する。 関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP5,CP6　　科目No. KNp-309		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	◎
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	①看護の対象の特徴を身体的・精神的・社会的側面から情報を収集し、分析を行うことができる。 ②対象の持つ複数の看護問題に着目でき、優先度を判断するとともに、看護過程を展開し、実際の看護援助を学ぶことができる。 ③プロセスレコードを作成、検討することで自己のコミュニケーション方法の特徴に気付き、看護に活かすことができる。 ④対象者の人権および人間性の尊重について考えることができる。 ⑤看護(医療)チームの一員であることを学び、行動することができる。		
授業概要	精神に疾患のある看護の対象の特徴を理解する。さらに、看護過程の展開を通して精神の健康保持・増進および精神疾患を持つ対象の看護と役割を理解する。		
授業計画	(実習施設) 久里浜医療センター、神奈川県立精神医療センター 、福井記念病院 (実習期間・時間) 3年次 5月初旬～10月初旬 ?実習全体ガイダンス(/)9:00～12:00 ②実習直前オリエンテーション:(/)時間未定 ③病棟実習:2週間 全8日間 8:15～15:45 ④学内実習:1週目木曜日　9:00～16:30 ⑤学内実習:2週目金曜日　9:00～12:00		
評価方法	実習内容・実習記録(90%)実習参加度(10%)を総合的に評価する。 担当教員と学生の総合評価を実習要項にある評価表により参考とする。 評価に対するフィードバックは面接で行う。		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院 精神看護学 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版		
参考書	エビデンスに基づく 精神科看護ケア関連図 (中央法規)		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ 連絡先	中村 仁志　9:00～17:00　第3号館3階研究室　h.nakamura@kdu.ac.jp 石井 一義　9:00～17:00　第3号館3階共同研究室　k.ishii@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。		